

Profile

著者略歴

山崎 長郎(やまざき・まさお)
1945年 長野県生まれ
1970年 東京歯科大学卒業
1974年 原宿デンタルオフィス開設

東京SJCD 最高顧問
SJCD インターナショナル会長

主な著書

1999年 『審美修復治療—複雑な補綴のマネージメント—』クインテッセンス出版
2002年 『ボンティッド ポーセレン レストレーションズ—バイオメティック・アプローチ—』(監修)クインテッセンス出版
2005年 『エステティックリハビリテーション—補綴治療のための審美分析—』(監訳)クインテッセンス出版



Esthetic Classifications

エステティック クラシフィケーションズ 複雑な審美修復治療のマネージメント

もくじ

PART 1 審美修復治療を成功させるために

Chapter 1

審美修復治療をはじめるとあたって

- 機能優先の修復治療を経て
- 現代の歯科治療に求められるもの
- 審美修復治療に求められるオフィス環境
- 審美修復に必要な包括的要素

Chapter 2

審美修復治療のための情報収集と準備

- コンサルテーション
- 審美修復治療のための包括的評価(1)
- 審美修復治療のための包括的評価(2)
- 審美修復治療に必要な前準備

Chapter 3

審美修復治療の分類

- 審美修復治療に影響を及ぼす因子
- Kay の分類
- Yamazaki の分類 I・II

PART2 分類に基づいた審美修復治療の実践

Chapter 4

審美修復治療の方法および材料

修復方法・材料の選択
Class I コンポジットレジン修復
Class II division I-i ポーセレンインレー&オンレー

Class II division I-ii ポーセレンラミネートベニア
Class II division II-i オールセラミックス
Class II division II-ii メタルセラミックス

Chapter 5

Patient Type I の審美修復治療

- Type I 補綴治療のみの患者
- 部位別のコンポジットレジン修復
 - CAD/CAM によるポーセレンインレー&オンレー
 - ポーセレンラミネートベニアによる前歯修復
 - CAD/CAM によるオールセラミック修復
 - 各種オールセラミックスとポーセレンパウダーの選択
 - 審美性の高いメタルセラミック修復

Chapter 6

Patient Type II の審美修復治療

- Type II division i 矯正 - 補綴修復患者
- 不正咬合を伴う前歯の審美修復治療
- Type II division ii 歯周 - 補綴修復患者
- 歯槽堤欠損を伴う前歯修復

Chapter 7

Patient Type III の審美修復治療

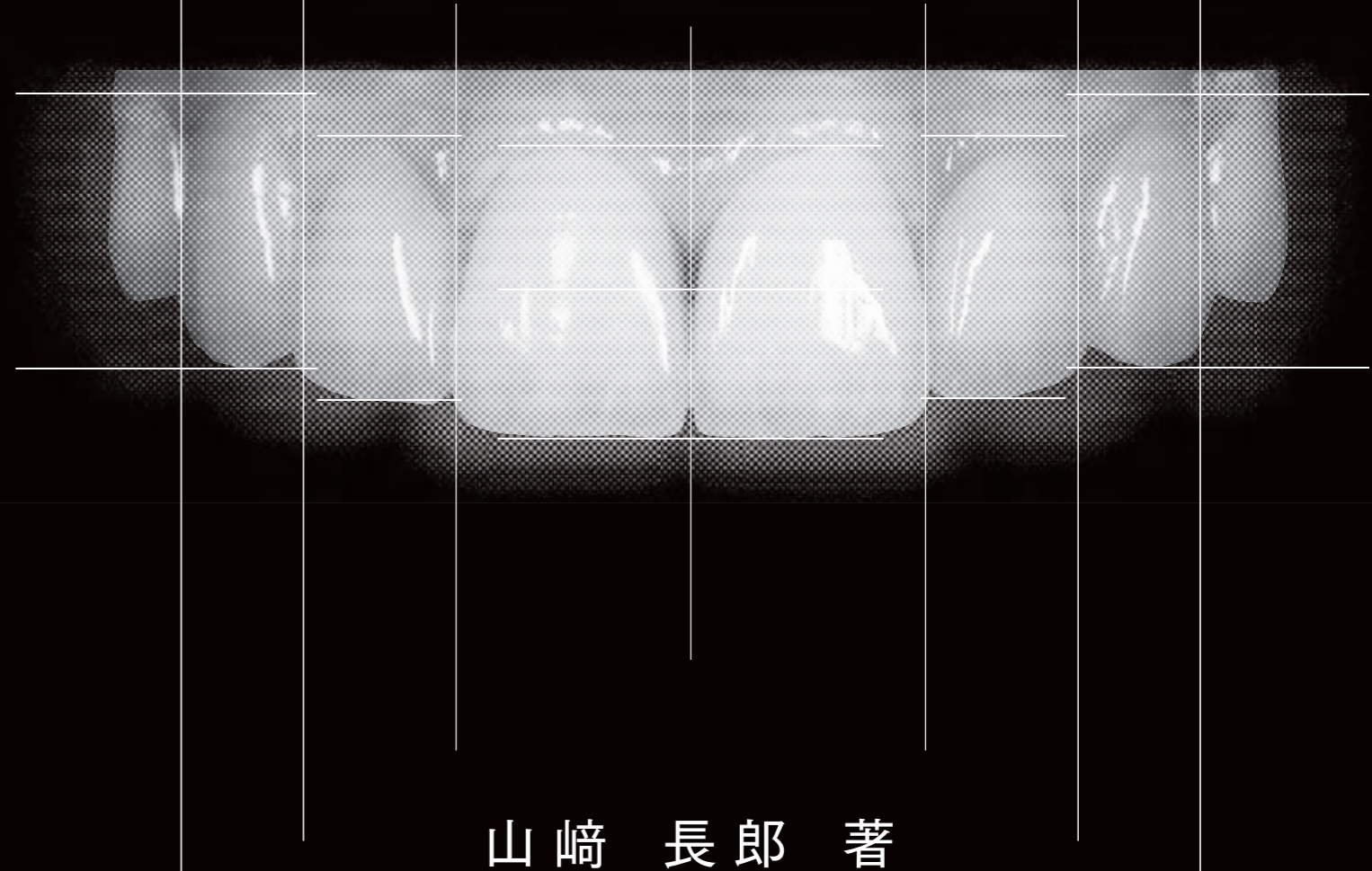
- Type III division i インプラント - 補綴修復患者
- Minimal Structural Loss - 審美的なインプラント修復 -
 - Moderate Structural Loss - 咬合再構成 -
 - Major Structural Loss - 咬合再構成(2) -
- Type III division ii 複合修復患者
- 全顎にわたる審美修復治療

これが世界標準の審美修復治療！

—Dr. Yamazakiが明かす そのA to Z

Esthetic Classifications

エステティック クラシフィケーションズ
複雑な審美修復治療のマネージメント



山崎 長郎 著

きりとり線

注文書

エステティック クラシフィケーションズ

冊注文します。

モリタ商品コード：805309

●お名前

●ご指定納入店

●ご住所 (〒)

●TEL

●FAX

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。

2009-2

State of the Art Esthetics 審美修復治療の到達点

Restorative Update 最新のシステム&マテリアル

●サイズ:A4判変型・ケース入 ●232ページ ●定価:26,250円(本体25,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 http://www.quint-j.co.jp/ e-mail mb@quint-j.co.jp

「最高の審美修復治療に必要なものは？」 「どのシステムやマテリアルを選択すべきか？」

——「Dr. Yamazakiは診療中に何を考え、診ているのか」が今ここに明かされる

国内のみならず、世界で賞賛を浴びた前著「審美修復治療—複雑な補綴のマネージメント—」の刊行から10年——。CAD/CAMやデンタルCT、マイクロスコープが導入され、各種材料やシステムも大きく発展を遂げた現在、Dr. Yamazakiが再び審美修復治療の決定版を世に送り出した。新たに開発した分類を携え、最新のシステム&マテリアルを活用して、Dr. Yamazakiが到達した審美修復治療のA to Zを余すところなく披露する。

PART1: 審美修復治療を成功させるために

本書を貫く「Esthetic Classifications」(Yamazakiの分類 I・II)は、審美修復治療のガイドラインでもある。複雑化した審美修復治療のデザイン&マテリアルを整理し、その患者に必要な治療分野を明確にすることで、ハイレベルな審美修復治療に引き上げることを可能にする。

前著でも紹介した、著者の審美修復治療を支えるフィロソフィーをはじめ、包括的評価やコンサルテーションの方法など、審美修復治療に不可欠な要素もあわせて紹介。前著を未読の読者、審美修復治療ビギナーのドクターでも問題なく読めるよう配慮した。

Yamazaki's Classification I (患者の分類)

- | | |
|----------|---|
| Type I | 補綴治療のみの患者
Restorative Patient |
| Type II | 歯周/矯正治療を必要とする患者
Orthodontics/Periodontics- Restorative Patient |
| | i) 矯正-補綴修復患者
Orthodontics- Restorative Patient |
| | ii) 歯周-補綴修復患者
Periodontics- Restorative Patient |
| Type III | 複雑な咬合再構成を必要とする患者
Complex Restorative Patient |
| | i) インプラント-補綴修復患者
Implant- Restorative Patient |
| | ii) 複合修復患者
Periodontics- Orthodontics- Implant-
Complex Restorative Patient |

●Yamazakiの分類 I

「たとえ複雑な問題を抱えた患者であっても、前処置を行って一定の状態に回復させれば、最終的には最高クラスの審美性が獲得できる」という考えに基づき、患者の術前の状態を分類し、それぞれの審美修復治療に必要な前処置の有無と、その分野を明確に示す。

Yamazaki's Classification II (修復方法・材料の分類)

- | | |
|-------------|---|
| Class I | コンポジットレジン修復
Adhesive Composite Resin |
| Class II | セラミックによる修復
Ceramics |
| division I | パーシャルベニア
Partial Veneers |
| | i) ポーセレンインレー&オンレー
Porcelain Inlays & Onlays |
| | ii) ポーセレンラミネートベニア
Porcelain Laminate Veneers |
| division II | フルベニア
Full Veneers |
| | i) オールセラミックス
All Ceramics |
| | ii) メタルセラミックス
Metal Ceramics |

●Yamazakiの分類 II

MI(minimal intervention)を基本概念とした、審美修復治療のデザインとマテリアルの分類。妥当性ある治療デザインとマテリアルの選択が行える。

PART2: 分類に基づいた審美修復治療の実際



●圧巻の43症例を追体験

Yamazakiの分類に基づいて呈示される症例は40以上。実際の治療の流れに沿った臨場感あるプレゼンテーションで、術者(著者)が診療中に何を考え、何を診ているのかを読者が体感できる。

●症例のポイントが自然に理解できる“keypoint”

症例ごとにポイントとなるテクニックや考え方、知識を“keypoint”として詳しく解説。ページを追うだけで、誰でも自然にその症例の的確なポイントを汲み取ることができる。

